



12月1日は世界エイズデー 市役所本庁舎を赤色にライトアップします！



世界エイズデー（12月1日）は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したものです。毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

本市では、世界エイズデーのシンボル「レッドリボン」にあわせて、市役所の本庁舎を赤色にライトアップします。

1 実施場所

川崎市役所本庁舎（川崎市川崎区宮本町1番地）

2 日 時

令和7年11月30日（日）～令和7年12月2日（火）

初日日没（16時28分頃）から22時00分まで



ライトアップイメージ

レッドリボン運動について

「レッドリボン（赤いリボン）」は、古くからヨーロッパに伝承される風習のひとつで、もともと病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

この「レッドリボン」がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1990年頃のことです。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティストたちにもエイズがひろがり、エイズで死亡する人々が増えていきました。そうした仲間たちに対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、「赤いリボン」をシンボルにした運動が始まりました。

レッドリボンは、エイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

令和7年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ

「U=U 検出されない＝性感染しない」

治療法の進歩によりHIV陽性者の予後が改善された結果、HIV陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、近年では、HIV治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable（検出限界値未満）＝Untransmittable（HIV感染しない）、略して「U=U」と呼ばれています。

この「U=U」という言葉を知ってもらうことを契機に、もう一度HIV/エイズのことを考えていただけるよう、普及啓発を行います。

川崎市では各区役所衛生課などで、エイズや性感染症についての相談を受け付けています。また、無料・匿名の検査も行っています。

検査場所については

川崎市 エイズ検査



で検索

問合せ先

川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策課 吉川

電話 044-200-2446